

建設副産物の再資源化利用

工事名：東側整備地区エプロン及び取付誘導路舗装等工事（他2件）

概要：（従来）購入した材料で舗装

（今回）空港内工事で発生した廃材を再生した再生アスファルトで舗装

効果

①資源の有効利用。

②天然資源を使わないで済むので、環境負荷が低減できる。

■計3件の工事費を3354百万円から3330百万円に改善。（改善額 24.1百万円、改善率 約1.0%）



従来舗装断面

表層(密粒度アスファルト)

基層(粗粒度アスファルト)

基層(アスファルト安定処理)

上層路盤(粒調碎石M-40)

下層路盤(クラッシャーランC-40)

舗装断面図例

購入した碎石など

再生砂、再生碎石

再生材を利用した舗装断面

表層(密粒度アスファルト)

基層(再生粗粒度アスファルト)

基層(再生アスファルト安定処理)

上層路盤(再生粒調碎石RM-40)

下層路盤(再生クラッシャーランRC-40)